

分科会開催報告書

報告日 令和元年 11月 30日(土)	報告者 小幡友子																														
分科会名 浮雲俳句会	開催テーマ 134回浮雲俳句会																														
開催日時 令和元年 11月 24日(日) 午前9時30分～午前11時30分	開催場所 能見台地区センター多目的室—A—																														
参加人数 “わ”の会会員 男11名 女6名 合計17名 欠席者0名																															
<p>実施内容</p> <p>第134回例会は、兼題①大間崎②動物(初冬)。他に当季雑詠2句。句会は、大川一馬会員による添削披露及び、田中十九会員による選句の披講の後、北野主宰から、天・地・人賞及び、特選5句、佳作8句の発表と夫々の句についての論評があった。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;">天賞句</td> <td style="width: 70%;">光陰の矢にたじろがぬ寒苦鳥</td> <td style="width: 15%; text-align: right;">十 九</td> </tr> <tr> <td>地賞句</td> <td>大鮪捌く鉢巻嘎れ声</td> <td style="text-align: right;">一 馬</td> </tr> <tr> <td>人賞句</td> <td>石露の花光の束を天に投ぐ</td> <td style="text-align: right;">和 女</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">特選句</td> <td>鮫鱧に止めの一太刀刺しにけり</td> <td style="text-align: right;">三 洋</td> </tr> <tr> <td>むささびの滑空を待つ闇の中</td> <td style="text-align: right;">あきえ</td> </tr> <tr> <td>初しぐれポットのお湯のカップ麺</td> <td style="text-align: right;">勇 平</td> </tr> <tr> <td>自慢気に白き肩出し畑大根</td> <td style="text-align: right;">とも女</td> </tr> <tr> <td></td> <td>山茶花に「和楽」の石に迎へられ</td> <td style="text-align: right;">國 眼</td> </tr> </table> <p>会員高点句</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;">7点句</td> <td style="width: 70%;">この先は一切なりゆき河豚を食ふ</td> <td style="width: 15%; text-align: right;">二 祥</td> </tr> <tr> <td>6点句</td> <td>冬霧の海鳴り太鼓大間崎</td> <td style="text-align: right;">とも女</td> </tr> <tr> <td>6点句</td> <td>自慢気に白き肩出し畑大根</td> <td style="text-align: right;">とも女</td> </tr> </table> <p>次回の予定</p> <p>令和元年12月22日(日)午前9時30分～午前11時30分「第135回例会」は、能見台地区センター多目的室—A—。第135回例会は、兼題①犬吠埼②植物(仲冬)追加「令和元年」他に当季雑詠2句。合計5句。披講長島和女会員。</p>		天賞句	光陰の矢にたじろがぬ寒苦鳥	十 九	地賞句	大鮪捌く鉢巻嘎れ声	一 馬	人賞句	石露の花光の束を天に投ぐ	和 女	特選句	鮫鱧に止めの一太刀刺しにけり	三 洋	むささびの滑空を待つ闇の中	あきえ	初しぐれポットのお湯のカップ麺	勇 平	自慢気に白き肩出し畑大根	とも女		山茶花に「和楽」の石に迎へられ	國 眼	7点句	この先は一切なりゆき河豚を食ふ	二 祥	6点句	冬霧の海鳴り太鼓大間崎	とも女	6点句	自慢気に白き肩出し畑大根	とも女
天賞句	光陰の矢にたじろがぬ寒苦鳥	十 九																													
地賞句	大鮪捌く鉢巻嘎れ声	一 馬																													
人賞句	石露の花光の束を天に投ぐ	和 女																													
特選句	鮫鱧に止めの一太刀刺しにけり	三 洋																													
	むささびの滑空を待つ闇の中	あきえ																													
	初しぐれポットのお湯のカップ麺	勇 平																													
	自慢気に白き肩出し畑大根	とも女																													
	山茶花に「和楽」の石に迎へられ	國 眼																													
7点句	この先は一切なりゆき河豚を食ふ	二 祥																													
6点句	冬霧の海鳴り太鼓大間崎	とも女																													
6点句	自慢気に白き肩出し畑大根	とも女																													